

特集2 地球環境への配慮

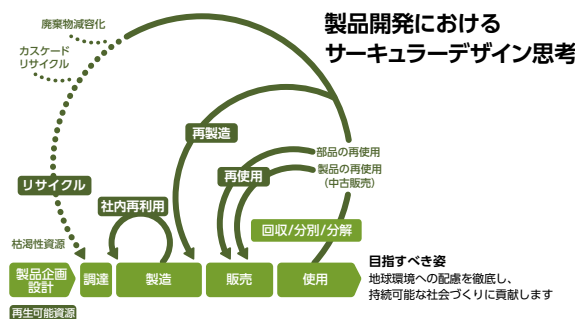
2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

世界中で地球温暖化への対策が急務とされる中で、企業にはより具体的な活動が求められています。オカムラグループは、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロをめざし、これまでの活動をさらに強化しました。2030年のCO₂排出量削減目標を、2020年比50%とし、2050年カーボンニュートラル実現に向けて着実に前進。社会に影響を与えるような新しい製品、活動を次々に創出しています。

循環経済のコンセプトに基づく
サーキュラーデザインを策定

「TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示タスクフォース)」提言への賛同を表明しているオカムラは、この提言に基づき、事業に影響を及ぼす気候関連リスク・機会について、複数のシナリオ下で評価しています。その中でも特に、原材料を循環利用することは気候変動の緩和に貢献すると捉えており、2021年11月には「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」の概念に基づいた「サーキュラーデザイン」の考え方を策定しました。従来の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みに加え、資源・製品価値の最大化、資源投入量・消費量の最小化などを積極的に進めています。

また、サーキュラーエコノミーの概念に基づき、「製品企画・設計」「調達」「製造」「販売」「メンテナンス」「再使用」「リサイクル」に至るまでの製品ライフサイクルの中で、限りある資源をより長く有効に活用し、廃棄物の発生を最小化するものづくりを志向。地球環境への配慮を徹底し、持続可能な社会づくりに貢献しています。（詳細 ▶ P.40）

オカムラ独自の環境基準により
環境に配慮した製品を拡充

オカムラは資材調達における環境配慮を行い、お取引先との連携による環境負荷の低減にも取り組んでいます。また、環境配慮製品の開発にも注力。製品に関するオカムラ独自の環境基準は、既に1997年に策定していました。これに当てはまるのが「GREEN WAVE 製品」です。2010年には環境配慮のレベルをより高めた基準として「GREEN WAVE+ 製品」を策定。一段と環境に配慮した製品の拡充を図るとともに、マークによる推奨製品表示を行って、お客さまによる選択を促しています。（詳細 ▶ P.69）

太陽光発電設備の導入や
水力発電への切り替えを推進

全国のおカムラグループの事業所や工場、物流拠点などでは、カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギー導入の取り組みが着々と進んでいます。現在、自家消費型太陽光発電設備の導入を3拠点、水力発電への切り替えを6拠点で実施しています。

自家消費型太陽光発電設備を導入

- 追浜事業所（神奈川県）
- 関西オカムラ（大阪府）
- 大阪物流センター（兵庫県）

水力発電による再生可能エネルギーへの切り替え

- 追浜事業所、中井工場、鶴見工場、横浜物流センター（神奈川県）
- 高島事業所（山形県）
- 富士精工本社（石川県）

「RE100」「JCLP」などの
外部イニシアティブに参加し
脱炭素社会の実現に貢献

オカムラは、事業で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることをめざす「RE100」、持続可能な脱炭素社会の実現をめざす「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」に、それぞれ2022年3月に加盟しました。こうした加盟を通じて、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにできるよう取り組みを進め、社会にも働きかけながら脱炭素社会の実現に貢献していきます。

リサイクル素材や再生可能資源を 製品に生かすオリジナリティ

さまざまなリサイクル素材や再生可能資源などが、オカムラの多くの製品に使われています。サーキュラーデザインのWebサイトでは、社内再利用や製造・調達・販売における取り組みなど、さらに数多くのアクションについてお伝えしています。

 <https://www.okamura.co.jp/company/sustainability/greenwave/action2.html>

PETリサイクル素材



海洋プラスチックごみ リサイクル生地



ウール素材



国産材



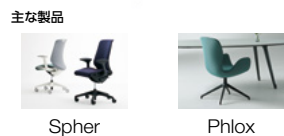
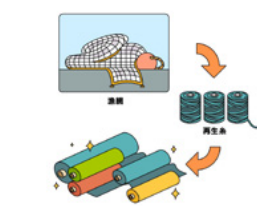
竹炭を利用した特殊粉体塗装



リノリウム



廃漁網リサイクル生地



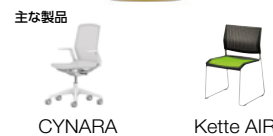
再生樹脂



バイオマスプラスチック



製品の軽量化



カーボンオフセットプログラムで 温室効果ガス削減活動に寄与

オカムラは、オフィス製品の原材料調達から製造、輸送、廃棄までの製品ライフサイクルを通じて、温室効果ガスの排出量を正しく計算し、排出量と同等の排出権（クレジット）付きの製品をお客さまに提供する「カーボンオフセットプログラム」を2022年1月からスタート。これによってお客さまは対象製品の購入で、温室効果ガスの削減活動に寄与できるようになりました。

オカムラでは、原材料の購入、お客さまへの製品納入において効率的な輸配送を実施するとともに、工場における省エネ対策、使用電力の再生可能エネルギーへの転換等を進め、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。こうした取り組みの結果、削減できなかったCO₂排出量を算出し、排出権を通じてオフセットしています。（詳細 ▶P.40）

「カーボンオフセットプログラム」の流れ

